

大阪PCB廃棄物処理事業だより (No.3)

鉄骨組立・外壁取付等を実施

PCB廃棄物処理施設は8月上旬から3階以上の鉄骨組み立てが始まり、建物は徐々に高くなってきています。また、1階から3階では右の写真のような外壁パネルの取付を開始し、施設の外観がご覧頂けるようになりました。施設内部では引き続き床工事、機器や配管の据え付けを実施しています。今後は内装、電気、計装の工事を予定しています。



外壁パネルの取り付け状況（西区画棟）



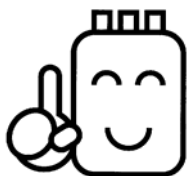
9月8日現在の建設状況（写真左：東区画、右：西区画）

安全パトロール等による安全の確保

JVが設置する災害防止協議会では、JESCO職員をはじめ労働安全委員が、定期的に安全集会及び安全パトロールを開催しています。また現場所長等の施工関係者は、「ご安全に」を掛け声に、毎日安全パトロールを行い、不安全な場所がないか、作業員が安全に配慮しているか等を注意深く監視・指導を行い、無事故・無災害で工事が完了するよう努めています。



安全パトロールの状況



此花区地域振興会による現場視察の実施



視察風景

此花区地域振興会(八木基之会長)により、6月28日午後3時から建設現場3階会議室において、現場視察会が行われました。

当日は、大阪市環境事業局の奥野技術監によるご挨拶を頂き、ついでJESCO担当者から事業だより(2号)及び工事の現状について説明を行った後、工事事務所から工事の進捗状況について熱心にご視察をいただきました。

PCB廃棄物処理事業検討委員会大阪事業部会の開催



事業部会風景

PCB廃棄物処理事業検討委員会の大阪事業部会(主査 酒井伸一 京都大学環境保全センター教授)が、7月13日午後5時からチサンホテル新大阪にて開催されました。

当日はJESCOから「大阪PCB廃棄物施設の安全設計について」及び「大阪PCB廃棄物処理事業の経過について」に関し報告を行い、各委員の方々から、貴重なご意見をいただき、今後のPCB廃棄物処理事業に反映させることとしています。

外殻構造体付きタンクの工場検査(内タンク)を実施

PCB廃棄物処理施設内には大型の機器が多数ありますが、その中の一つが外殻構造体付きタンクで、本施設で使用する溶媒や無害化された油を貯蔵するためのタンク(内タンク、右の写真)をステンレス製の外殻で覆い安全性の高い2重構造になっています。その外殻構造体付きタンクの内タンクの工場検査を実施しました。

写真のタンクは外殻構造体の中に収められ、10月下旬、西区画棟に据え付け予定のものです。



外殻構造体付きタンクの内タンク

外殻構造体付きタンクの据え付け実施

東区画棟において9月12日から5日間にわたって19基の外殻構造体付きタンクが設置されました。右の写真のような外殻構造体付きタンクはさらにコンクリート製構造体の中に据え付けられます。



外殻構造体付きタンク据え付け状況

施工者からの一言

工事の進捗に伴い、1日あたりの作業員数は、現在、東西合わせて700人を超えています。また、延労働人員は約57,000人、延労働時間は約510,000時間になります。これまで日々の安全活動の結果により無事故・無災害でこれまで工事を進めていくことができました。今後は高所作業等が増えてきますがこれまで以上に、全員気を引き締めて安全に工事を進めてまいります。



発注者 日本環境安全事業株式会社

(連絡先) 大阪事業所 06-6575-5575

施工者 三井造船-大阪事業異工種建設工事共同企業体

(連絡先) 三井造船(株)大阪PCB工事事務所

06-6462-5095